

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 クリアル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2998 URL <https://corp.creal.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大造
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 金子 好宏 (TEL) 03-6264-2561
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,123	37.3	1,672	28.1	534	19.4	494	23.8	341	22.2
2022年3月期第3四半期	8,829	—	1,305	—	447	—	399	—	279	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 342百万円(22.3%) 2022年3月期第3四半期 280百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	68.82	62.69
2022年3月期第3四半期	65.46	—

- (注) 1. 当社は、2022年4月28日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年3月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 2021年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
3. 2022年3月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権はありますが、当社は非上場であったことから、期中平均株価を把握できなかったため記載しておりません。
4. 2021年12月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	17,553	2,030	11.5
2022年3月期	10,926	1,045	9.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,025百万円 2022年3月期 1,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	51.2	2,080	33.8	480	53.0	430	67.3	270	56.6	52.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	5,102,300株	2022年3月期	4,272,000株
2023年3月期3Q	21株	2022年3月期	1株
2023年3月期3Q	4,966,883株	2022年3月期3Q	4,272,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 2021年12月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年度断続的に発令された新型コロナウイルスの感染拡大に伴う長期間の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除を受けて経済社会活動の正常化が進み、個人消費のサービス支出減少やその影響を受ける業種の企業業績も持ち直しが見られました。ウィズコロナの下で感染拡大への対策を継続しながらも正常化に向かうことが期待されます。海外経済におきましても持ち直しの動きが見られますが、諸外国のインフレ高進と抑制のための金融引締め、先進各国との金利差拡大と為替相場の変動、ウクライナ情勢に起因するエネルギー価格高騰など、依然として先行き不透明な状況を注視する必要があります。

当社グループが属する不動産及び不動産クラウドファンディング業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛や国境を超えた移動の制限の緩和等により、稼働率の低下していたホテルや商業施設は全国旅行支援等の政策効果を受けて回復基調にあり、レジデンスや物流施設は安定稼働と底堅い投資需要が継続しました。例えば、マンション市場におきましては、新築中古ともに平米単価は上昇傾向を維持しています。また、日本の低金利と円安を背景に海外投資家による国内不動産への投資需要の高まりが見られます。当社グループの属する業界はコロナ禍からの回復と、国内外の金融情勢の変化が及ぼす影響について、今後も注視する必要があります。

こうした環境の中、当社グループは、「CREAL」サービスにおいて、東京23区の区分レジデンスのリノベーション、商業施設、物流施設、一棟レジデンス、コリビングタイプのレジデンス(※)、新設保育園の不動産ファンドをオンラインで提供して運用資産の残高とアセットタイプの拡大を図るとともに、着実に売却を実行しオンライン投資家にリターンを提供することで、投資家会員数は約3.7万人、累積投資金額は242億円を突破しました。「CREAL Partners」サービスでは、中古ワンルームマンションの販売本数を伸ばし、付随する賃貸管理物件数の増加につなげました。そして「CREAL Pro」サービスにおいては、海外機関投資家を対象に国内レジデンスを複数組み入れたファンドを新規組成することにより、ファンド組成手数料及びアセットマネジメントフィーの増加につなげることができました。

以上の結果、売上高12,123,436千円(前年同期比37.3%増)、売上総利益1,672,950千円(前年同期比28.1%増)、営業利益534,939千円(前年同期比19.4%増)、経常利益494,776千円(前年同期比23.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益341,814千円(前年同期比22.2%増)となりました。

なお、当社グループは、資産運用プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

※ ワークスペースとシェアハウスを複合させたもので、高水準のデジタルインフラが整っているコワーキングスペースや住居者の交流を重視する仕掛けが充実している共同住居施設

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,553,325千円となり、前連結会計年度末と比べ6,627,060千円増加しております。これは主に、現金及び預金の増加1,686,771千円、預託金の増加1,271,341千円、販売用不動産の増加3,227,518千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は15,522,385千円となり、前連結会計年度末に比べ5,642,097千円増加しております。これは主に、事業拡大によるクラウドファンディング預り金の増加1,957,881千円及び匿名組合出資預り金の増加2,133,730千円、長期借入金の増加1,215,081千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,030,940千円となり、前連結会計年度に比べ984,963千円増加しております。これは、主に当社株式の東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資による資本金の増加320,401千円及び資本剰余金の増加320,401千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上341,814千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主たる収益は、物件を顧客に引渡した時点で収益を認識しているため、当社グループの収益を四半期ごとに見た場合、物件の引渡し時期により、業績に偏重が生じる傾向にあります。

2023年3月期通期連結業績予想につきまして、概ね計画通りに推移しており、2022年12月27日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想から変更はありません。なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,458,138	3,144,910
預託金	528,289	1,799,631
売掛金	15,234	42,461
販売用不動産	7,469,677	10,697,196
仕掛販売用不動産	3,547	75,659
貯蔵品	5,613	3,174
その他	215,731	357,092
貸倒引当金	△39,600	△38,600
流動資産合計	9,656,633	16,081,525
固定資産		
有形固定資産	1,208,435	1,399,870
無形固定資産	5,847	1,766
投資その他の資産	55,347	70,163
固定資産合計	1,269,631	1,471,800
資産合計	10,926,264	17,553,325
負債の部		
流動負債		
短期借入金	254,300	586,800
1年内償還予定の社債	583,200	-
1年内返済予定の長期借入金	29,808	479,384
未払法人税等	127,048	115,207
転貸損失引当金	6,773	4,700
賞与引当金	-	10,380
クラウドファンディング預り金	565,818	2,523,699
匿名組合出資預り金	7,528,060	9,661,790
その他	387,299	553,091
流動負債合計	9,482,308	13,935,054
固定負債		
長期借入金	308,552	1,523,633
転貸損失引当金	3,378	228
その他	86,050	63,470
固定負債合計	397,980	1,587,331
負債合計	9,880,288	15,522,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	379,000	699,401
資本剰余金	279,000	599,401
利益剰余金	382,904	724,718
自己株式	-	△25
株主資本合計	1,040,904	2,023,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855	1,999
その他の包括利益累計額合計	855	1,999
新株予約権	2,696	3,902
非支配株主持分	1,520	1,541
純資産合計	1,045,976	2,030,940
負債純資産合計	10,926,264	17,553,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,829,261	12,123,436
売上原価	7,523,466	10,450,486
売上総利益	1,305,795	1,672,950
販売費及び一般管理費	857,848	1,138,010
営業利益	447,947	534,939
営業外収益		
受取利息	10	14
違約金収入	1,800	650
還付加算金	-	189
その他	183	42
営業外収益合計	1,993	895
営業外費用		
支払利息	40,189	29,268
減価償却費	6,652	-
上場関連費用	2,000	11,763
その他	1,501	28
営業外費用合計	50,343	41,059
経常利益	399,597	494,776
特別利益		
関係会社株式売却益	56,015	-
その他	907	-
特別利益合計	56,923	-
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	456,520	494,776
匿名組合損益分配額	48,118	△2,878
税金等調整前四半期純利益	408,401	497,654
法人税等	128,479	155,819
四半期純利益	279,922	341,834
非支配株主に帰属する四半期純利益	288	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	279,634	341,814

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	279,922	341,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	630	1,144
その他の包括利益合計	630	1,144
四半期包括利益	280,552	342,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,264	342,958
非支配株主に係る四半期包括利益	288	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月28日をもって東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年4月27日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）により新株式743,000株を発行し、資本金及び資本剰余金がそれぞれ317,855千円増加しております。さらに、新株予約権（ストックオプション）の行使に伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,546千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が699,401千円、資本剰余金が599,401千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、資産運用プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。